

第 4 回 みやぎの運河群連絡調整会議 発表一覧表

NO,	機関・団体名	ページ数
1	NPO 法人ひたかみ水の里	P1
2	すばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る協議会	P10
3	貞山・北上・東名運河研究会	P11
4	貞山運河「御舟入堀」プロジェクト	P23
5	仙台湾岸運河群の歴史と記憶を伝える協議会	P25
6	貞山運河倶楽部	P27
7	一般社団法人貞山運河ネット	P29
8	新貞山ローイングクラブ	P31
9	多賀城市企画経営部市民文化創造課	P32
1 0	仙台市建設局百年の杜推進部公園整備課	P36
1 1	若林区まちづくり推進部海浜エリア活性化企画室	P43
1 2	宮城県 仙台土木事務所	P46
1 3	宮城県 東部土木事務所	P47

※1 団体（1 行政機関）5 分以内（約 90 分間）

※4 分で 1 回ベルを鳴らします。5 分で 2・3 回ベルを鳴らしますので、速やかにまとめに入り、終了してください。

令和7年度 ひたかみ水の里の取り組み

令和6年度の事業

- **子どもの体験学習**
めだかっこクラブ、小中学校の総合学習支援、親子対象にした
カヌー体験など
- **河川の除草、清掃活動**
石井閘門周辺や北北上運河などの除草、清掃活動
- **水辺のイベント**
水辺を活用したイベント

親子カヌー体験

7月から石巻管内の親子対象に実施。11月まで実施予定



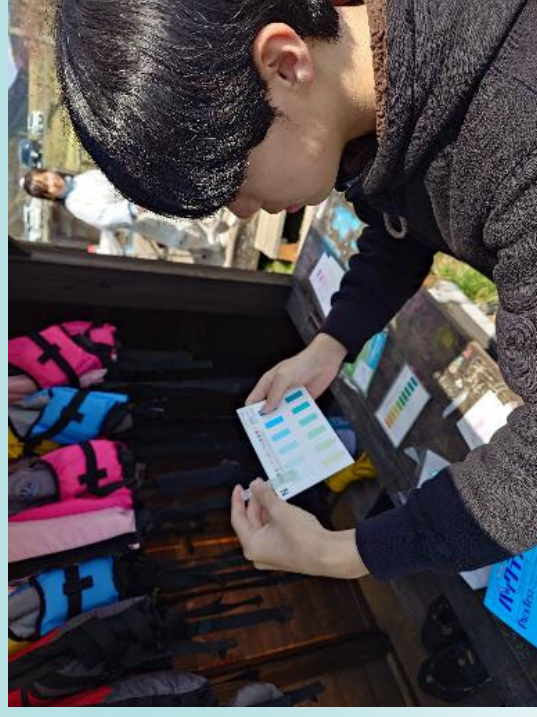
小学校のカヌー体験

7月に下伊場野小学校(大崎市)が鳴瀬川にて実施、
9月には中里小学校(石巻市)が北上運河にて実施



めだかつこクラブ

毎週土曜日にカヌー体験や水生生物調査、水難救助、キャンプなどを実施



めだかつこクラブ

毎週土曜日にカヌー体験や水生生物調査、水難救助、キャンプなどを実施



6



除草・清掃活動

北上運河や中里川の除草・清掃活動を実施



水辺のイベント

7月7日に水辺で乾杯、8月には北上川の上流めぐりを実施、
9月には北上川流域の研修会を他団体と実施
10月－11月には貞山運河ネットと米運びや実行委員会形式で北上川
フェアなどのイベントを予定



ありがとうございました



すばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る協議会

令和 7 年 9 月

令和 6 年度活動実績

4 月 2 1 日 上釜地区住民による北北上運河の堤防清掃活動

4 月～ 1 0 月の隔週土曜日

中浦橋～中埦橋（約 2 k m）の南側堤防沿いの雑木雑草除去作業

延べ 1 5 回 平均 3 8 人従事

5 月～ 6 月 桜並木養生作業（施肥、支柱設置）

7 月 5 日 感謝の会実施

市長、県、市職員、企業役員、会員等 6 5 名参加

1 0 月 1 6 日 石井閘門～釜閘門（約 6 km）現地視察

国、県、市職員、会員にて改善、整備項目協議

3 月 関係省庁との協議結果を踏まえ、松 5 6 本、桜 3 7 本植栽

令和 7 年活動予定

例年通り、4 月からの中浦橋～中埦橋の南側堤防沿いの雑木雑草除去作業をメインとする住民参加型の活動を実施していく。

併せて、関係省庁との協議を通じ、公園等の施設の設置、水質改善の方策を推進していく。

- ・東屋 1 棟設置（石巻市との協議の結果）

- ・松並木再生 1 1 9 本植栽

- ・桜並木 累計 1 4 5 本

令和元年 3 月 9 0 本

6 年 3 月 2 0 本

7 年 3 月 3 5 本

～水と風と砂のものがたりと共に、次世代へつなぐ～

令和7年度「グローバルスタディ課題研究Ⅰ 北上川フィールドワーク～世界の水問題～」 仙台二華高校 冊子より抜粋)

令和7年度

グローバルスタディ課題研究Ⅰ

北上川フィールドワーク

— 世界の水問題 —



宮城県仙台二葉高等学校

川の背割堤、品井沼の干拓～ 野蒜築港（北上運河から始まる、市街地跡・突堤、開港と頓挫）、東名運河の開削理由、洪水・津波被災状況、背割堤の出来た理由などを学びます。協力：国土交通省・北上川下流河川工事事務所、宮城県東部地方振興事務所（防災林）、野蒜塾など。

砂浜海岸を守った海浜植物や実生のクロマツ群落たち…、外来植物・オニハマダイコンの植生調査（GPS 付き写真撮影など）。協力：野蒜塾、東松島市、宮城県東部地方振興事務所など。

～洲崎湿地ができるまで…、世界一？の砂浜海岸の前進速度はなぜ起こったか？ なぜに奇跡の
湿地？ 水の交換はどう起こる？ 協力：東松島市、貞山・北上・東名運河研究会

酸欠の水環境はなぜできる？ 冬鳥たち大襲来 子育ての楽園？ 水草・藻の大繁茂、生態系への影響は？ 特定外来生物アメリカザリガニなどの生態系調査。協力：野蒜塾、貞山・北上・東名運河研究会、国土交通省国土地理院東北地方測量事務所、地域環境計画など。

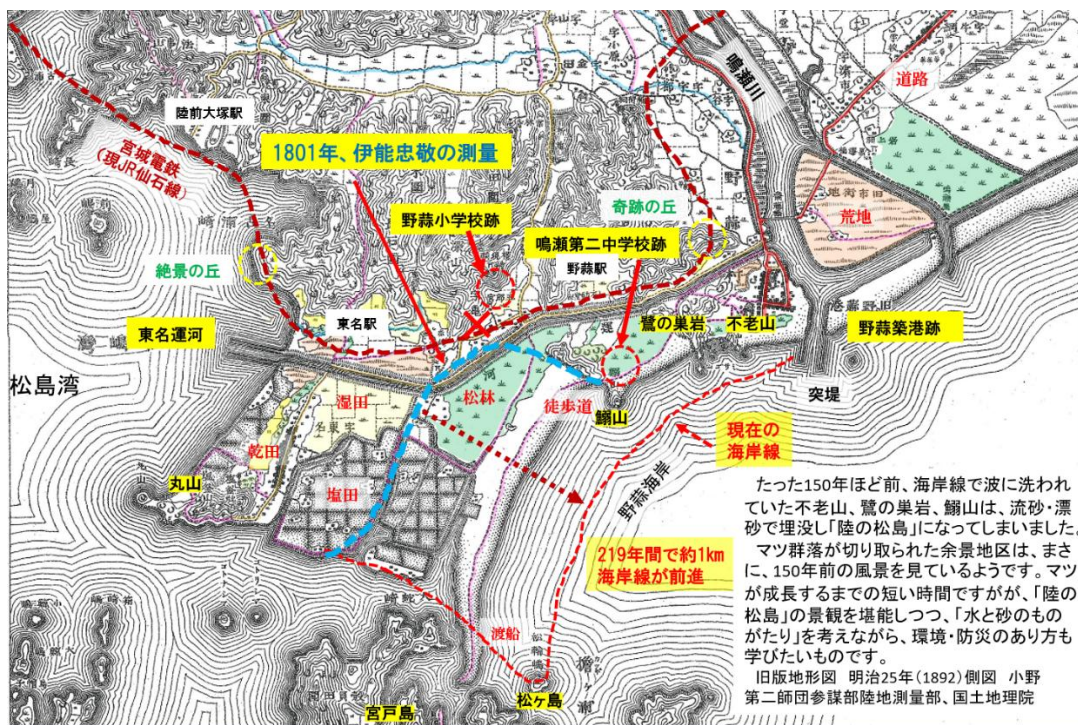


図-1 鳴瀬川河口周辺の水と砂のものがたり 作図：貞山・北上・東名運河研究会 後藤光亀

○ 令和6年度 活動報告 ① 野蒜塾+貞山・北上・東名運河研究会

例年、年2回実施している「**高校生と見る 野蒜海岸・洲崎湿地 水辺環境フォーラム～次世代につなぐ～**」の内容を、「**水辺・絆プロジェクト2024**」の助成を受け、パンフレット1（下記）、リーフレット①②③④を作成して、野蒜海岸や地元の学校・図書館・道の駅・震災伝承館・市民センター・飲食店などで社会発信しています！

水辺から地域を元気に
**水辺・絆
プロジェクト**

「水辺・絆プロジェクト2024」
の助成を受け発行しています



野蒜海岸 2023



気取 鴨瀬川河口
2024.11.04



洲崎湿地 2024.06.10



洲崎湿地 2023.06.17

高校生と見る 野蒜海岸・洲崎湿地 水辺環境フォーラム ～次世代につなぐ～



ドローン空撮 東松島市・成澤史浩 2022.07



砂柱 洲崎近
2024.02.06



洲崎湿地 2017

令和6(2024)年度

主催：野蒜塾、貞山・北上・東名運河研究会

共催：東松島市、阿武隈生物研究会

後援：国土交通省北上川下流河川事務所、国土地理院東北地方測量部、宮城県、
東松島市教育委員会、野蒜まちづくり協議会



野蒜海岸 実生のクロマツ群落 飛砂の堆砂



2024.12.01



マツバの堆肥化 木枠の組み立て 2024.06.30



高校生と見る 野蒜海岸・洲崎湿地 水辺環境フォーラム ～次世代につなぐ～

野蒜塾は、平成30（2018）年3月に東松島市の地元住民が中心となって創立された任意団体です。その目的は、「野蒜地区を中心とした仙台湾や松島湾周辺の地形の成り立ちと地名、歴史とくらし、水環境と生態系、環境・防災教育や地域づくりなどに貢献する」ことです。

これまで、伊能図・絵図を始め、国土地理院のGSI Mapsや地図・空中写真閲覧サービスそして東日本大震災後の復興創生時の多くのボーリングデータから、野蒜海岸と洲崎湿地の「地形の成り立ちの見える化」および「津波被災の見える化」を進めてきました。これらの成果は、歴史・防災・環境の教育教材として、地元の地域自治組織広報紙、5年前からは仙台二華高校の学外実習等で利活用中です。

また、高校や大学等との共同調査から、野蒜海岸や洲崎湿地の水環境や生態系の多くの知見が集積され、このデータベースを社会発信（フォーラムやリーフレット作成等）することを行ってきました。

野蒜塾では、過去の歴史やくらしをひも解くだけでなく、東日本大震災時の被災状況および復興創生時の地形とくらしの変化や水辺環境・生態系などの変遷を後世に残すべく、地元の方々の経験・記憶や思い出を加えて、昭和・平成・令和時代の歳時記として編集を進めています

～次世代につなぐ これまでの活動～

2020年10月、コロナ禍で仙台二華高校の北上川フィールドワーク（宮城県～岩手県）が自粛される中、国、県、市、市民団体などのご協力のもと、約1ヶ月の準備期間で実施された県内でのフィールドワーク「野蒜海岸・洲崎湿地編」…。このフィールドワークは現在も継続し、さらに高校生との共同調査と研究発表会が続いています（3～4頁参照）。

2024年度は、4月から現地での共同調査、8月1日に「高校生と見る『野蒜海岸・洲崎湿地』水辺環境フォーラム ～次世代につなぐ～」第7弾を実施し、多くの貴重な情報・意見交換があり、これらを受けて調査研究が継続実施されました。2025年2月1日には、「水辺環境フォーラム」第8弾として、8月以降の共同調査などをまとめ、高校生と共に野蒜海岸・洲崎湿地の自然の営みについて活発で有意義な情報発信と意見交換が行われました（2頁参照）。これらの成果を踏まえ、さまざまな社旗発信を予定しています

野蒜塾 貞山・北上・東名運河研究会 一同

○2024年8月1日

○基調講演「鳴瀬川・吉田川の河口から見た流域治水」～流砂・漂砂とは～

野蒜海岸を育てた鳴瀬川・吉田川・北上川…、水と砂の流れを学びます 国土交通省北上川下流河川事務所 所長 斎藤幸浩

○話題提供「ふるさと野蒜」の水辺環境

・岩石の結晶から読み解く奥松島の地層と地形の成り立ち 仙台二華高校・地学部 元顧問 花松俊一

・野蒜海岸の砂浜の機能と利活用

砂浜がやせる・ふとる？ 風のしわざ・飛砂？ 野蒜海岸の砂浜地形と海浜植物、砂浜海岸の防災機能とは…

野蒜海岸のルールづくり、知ってる？ レジャー密漁など、野蒜海岸の現状と課題を紹介… 貞山・北上・東名運河研究会 野蒜塾

○高校生から見た「ふるさと野蒜」の水辺環境 仙台二華高校 2年 課題研究Ⅱより

・どうする？ 野蒜海岸・防災林の保育 野蒜ヶ丘の造成残土を盛土してクロマツを植林した野蒜海岸の防災林、これから長い保育が必要です。その間、マツバ、松ぼっくり、固伐材、光競合を起こすための除草されるクズなどが多量に排出されます。その利活用として、マツバの堆肥化、土壌動物の機能、マツバサイダー、着火剤、クズのリースづくりなどの取り組みを紹介します

・どうなる？ 野蒜海岸の砂浜と海浜植物 砂浜断面と海浜植物の機能、海岸への漂着物の役割などを学びます

○2025年2月1日

○話題提供「ふるさと野蒜」の水辺環境 野蒜塾 早川 宏、多田孝基、飯川悦子 貞山・北上・東名運河研究会 後藤光亀 他

東名運河・野蒜海岸～北上運河の水質鉛直分布調査 ～潮汐と運河への塩水くさび～

野蒜海岸・洲崎湿地の水環境と生態系 ～植物相から見る水辺環境～

野蒜海岸・洲崎湿地・東名運河の地形と地下水の動き ～砂州の地形で、水はどう動く～

野蒜海岸の機能とは… ～砂浜の機能・共生クロマツ群落・防災林の保育・生態系サービス～

野蒜海岸の利活用のルールづくり ～レジャー密漁・社会発信の工夫～

○高校生から見た「ふるさと野蒜」の水辺環境 宮城県仙台二華高等学校 課題研究Ⅰ・地学部より

・どうする？ 野蒜海岸・防災林の保育

「廃棄予定の松葉の堆肥化」

仙台二華高校 2年 渡部樹季・瀬上周音

「松葉を活用したペレット燃料の製作」

仙台二華高校 2年 笹倉倫恭

「葛の可能性」

仙台二華高校 2年 鈴木喜祈

「美味しい松葉サイダーを作りたい！」

仙台二華高校 2年 外塚 然

・どうなる？ 野蒜海岸の砂浜と海浜植物

砂浜断面と海浜植物の機能などを学びます

「防災における海岸植物の役割について」

仙台二華高校 2年 堀米咲希

「野蒜海岸・洲崎湿地に関する課題研究Ⅰの取り組み 9 題」

仙台二華高校1年

野蒜海岸→キーワード:アナゴ・オニハマダイコン 洲崎湿地→キーワード:魚・アメリカザリガニ・フミン物質・水鳥飛来とNP排出・水草の浄化…

・知ってる？ 奥松島の宝物 ～宝石と天然木炭～

いつも見ている奥松島の凝灰岩、若い世代がこの凝灰岩から宝物を探しています。そして見つかりました！ 宝石と天然木炭…！

発見の経緯とその輝き、そして奥松島の地形の成り立ちを考えます

「松島層のMt3（凝灰角礫岩部層）を形成した火山活動 –ガラス質火山岩及び天然木炭の存在から分かったこと–」

仙台二華高校 地学部2年 鈴木結都・山野辺董人・今井菜々子・尾上大和

「宮戸島のメノウと西会津町のオパールと比較研究」

仙台二華高校 地学部2年 遠藤陽南

○ 高校生と見る「野蒜海岸・洲崎湿地」水辺環境フォーラム ～次世代につなぐ～ 第7弾 2024.08.01

午前、野蒜市民センターで水辺環境フォーラムが開催されました（参加者43名）。特に高校生の研究発表には多くの意見やアドバイスが寄せられ、今後の研究の進展が期待されました。午後、現地見学会では防災林のマツバの堆肥化～実生のクロマツ群落～砂浜海岸の海浜植物と防災機能などに関し、情報・意見交換を行いました（参加者25名）



約1600万年前の凝灰岩の結晶からひも解く当時の奥松島の水辺…。高校生のポンチ絵から見えてきた当時の海辺の火山活動の姿とは…。(花松先生の話題提供「奥松島の地層と地形の成り立ち」より)

近年、温暖化の影響のため東北地方でも短時間豪雨や線状降水帯の発生が頻発し、山から海への水と土砂の流れによる災害が激化…。川の流れによる流砂、海岸での波と沿岸流による漂砂、風による飛砂で野蒜海岸や鳴瀬川河口はどう変化…。東日本大震災や洪水災害の経験から、水や砂の流れを流域全体で安全なシステム構築に向けての動きを、農業との連携、内水と外水、水資源の確保などをキーワードに情報・意見交換を行いました(斎藤所長の基調講演「鳴瀬川河口から見た流域治水」より)



2024.08.01

現地見学

野蒜海岸の防災林の調査と砂浜の機能を確認

○ 北上川フィールドワーク ～野蒜海岸・洲崎湿地編～ 除草作業・生き物調査 2024.09.13 09.16

仙台二華高校の1年生70名の4コースの研修に先立ち、野蒜塾では、研修路の草刈り作業を実施。また、A～Dコースの下見と、Cコースの生き物調査の準備を実施



○ 北上川フィールドワーク ～野蒜海岸・洲崎湿地編～ 仙台二華高校 2024.09.26

1年生70名が例年通り4コースの研修を行いました(右下図参照)。天候にも恵まれ、順調に研修が終了。また、今回はフィールドワークが5年目であるので、生徒70名全員にアンケート調査を実施しました。アンケート結果は、サポート頂いた関係機関にも配布し、生徒の皆さんの感想を参考に、今後の課題と展開に関する情報提供をお願いしています



Cコース 生き物調査

○ 高校生と見る「野蒜海岸・洲崎湿地」水辺環境フォーラム ～次世代につなぐ～ 第8弾 2025.02.01

野蒜市民センターで水辺環境フォーラムが開催されました(参加者41名)。また、「水と風と砂のものがたり」として、野蒜海岸の風紋・砂柱、貝や海浜植物の種子などの展示も行いました。さらに、昨年8/1と今回2/1の情報・意見交換を踏まえ、リーフレット①②③④を「水辺・絆プロジェクト2024」の助成金で作成しました(左下図参照)



フォーラムでの活発な意見交換!

砂柱・洲崎浜 2024.2.6 砂が溜り、風速が大のときのみ形成される自然造形…(2/1 水辺環境フォーラムで展示)

○ リーフレット 水と風と砂のものがたり ①～④ 社会発信



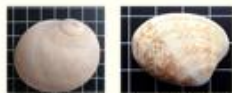
北上川フィールドワーク ～野蒜海岸・洲崎湿地編～

Aコース 話題:鳴瀬川・吉田川河口 流砂・漂砂 流域治水
野蒜築港 防災林 ～水と風と砂のものがたり～
サポーター:国土交通省北上川下流河川事務所、宮城県東部地方振興事務所、野蒜塾

Bコース 話題:奇跡の海岸「野蒜海岸」
海浜植物が守ったものは…?
外来種オニハマダイコン植生調査
サポーター:野蒜塾、ヒマジン

Cコース 話題:奇跡の湿地「洲崎湿地」
震災後の復興過程で見てきたものは?
サポーター:東松島市、野蒜塾、貞山・北上・東名運河研究会

Dコース 話題:奇跡の湿地「洲崎湿地」 水環境・生態系
なぜに奇跡の湿地か? 生き物調査
地理院地図GSI Maps
サポーター:国土交通省東北地方測量部、野蒜塾、貞山・北上・東名運河研究会、(株)地域環境計画



サキグロタマシメダ
洲崎浜 2022年

平成9 (1997) 年
東名の風景



東名漁港



東名の長浜水田
(堤田跡)



東名郵便局付近



後藤酒店付近



東名の巨樹林・やぶ



東名の巨樹林と水田
(長浜堤田跡)



東名浜 (長浜)



あさり入漁案内 (鳴瀬町漁業協同組合)



調査、お疲れ様でした！

○ **現地見学会 2023年 7月1日(土) 07:00~11:30**
佐藤慎一先生の長浜 (東名浜) でのベントス (貝類など) コドランド調査
を見学。その後、陸奥湾 (トンボロ地形) の東名 (東灘) の通称ふんどし
町・東名年産跡を見学し、野蒜海岸、洲崎浜、洲崎湿地の地形の成り立ちと
くらし (塩田・水田・潮害防備保安林など) の変遷、仙石線の廃線跡を巡り、
近世~近代~現代の地元学を学びました



松島湾一の絶景・鶴ヶ越
仙石線廃線跡「絶景の丘」



洲崎湿地
コブハクチョウ
の子育て
2023.08.02



野蒜海岸
スナガニ調査
2023.10.29



洲崎湿地Ⅰ
カイツブリ親子
2023.07.31



洲崎湿地Ⅰ
産で流れた若い浮巢
カイツブリの卵4個
2023.06.17



洲崎湿地Ⅱ
ゴイサギの幼鳥
2023.08.02



野蒜海岸での密漁？ 2023.05.21



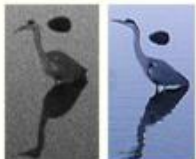
密漁禁止区、
No Poaching



洲崎湿地・カワセミ



野蒜海岸
防災林のマツバ草の
仙台二華高校 2023.10.29



洲崎湿地Ⅱ・アオサギ
夜~朝まで約7時間
同じ場所でも動き探伺
2023.12~2024.01



洲崎湿地Ⅲ・アオコ状況
2023.09.07



アオコの原図藻類類
アナベノプシス属
撮影：内野先生 (仙台二華高校)

野蒜塾

高校生と見る「野蒜海岸・洲崎湿地・長浜 (東名)」第5弾

2023年 6月30日(金) 14:00~17:00

野蒜海岸は、1801年の伊能忠敬の測量から現在までの約220年で約1000mという
驚異的な前進を見せた水と砂とが織りなす自然遺産です。その測量時、大塚56軒、
東名20軒、亀岡9軒の家が記録され、1778年、東灘 (東名) 長浜の後背低地に塩田
を開墾したくらしの一端が伺えます。

1882年に、鳴瀬川の河口に野蒜築港が開港し、鳴瀬川等からの堆砂問題で1884
年に東名運河が開削されました。その後、塩田、水田などの生業の地は、2011年の
東日本大震災の津波がこれら低地を通り抜け、くらしは大きく変化しました！

東名運河より海側が住めなくなった今、次世代へつなぐ「風土記」を残すべく情
報交換の場を設けました。しっかりと、そして、楽しく語り合いました

○ 震災前後の長浜のアサリから見る松島湾の生態系

記念講演「東日本大震災の前後22年間・長浜 (東名) のアサリ調査から見た
松島湾の自然と生態系」 静岡大学 佐藤慎一教授 (元東北大学総合博物館)
震災前後の長浜 (東名) のアサリやサキグロタマシメダなどの貝類の変遷から、長
浜や松島湾の自然と生態系の多様性を考えます

○ ふるさと野蒜の地形の成り立ちとくらし 野蒜塾

野蒜海岸、洲崎浜の塩性湿地、洲崎湿地、東名 (東灘) ・長浜の地形の成り立ちや
地名、この地でのくらし (塩田・水田・井戸・方言など) を振り返りながら、次世代
に残すべき「野蒜学」について「地理院地図」を活用しながら情報・意見交換を行
いました



キアゴ・宮戸島蛤類
おぼしき・遊び



ウミユナ・蛤類



入漁料金



食堂・駐車場 (鳴瀬漁協)

撮影：後藤光虎
1997.03.23

高校生と見る「野蒜海岸・洲崎湿地」第6弾

水辺環境フォーラム ~次世代につなぐ~

2024年 1月28日(日) 09:30~12:30

仙台二華高校の生徒による授業やクラブ活動による野蒜
海岸や洲崎湿地の調査、そして野蒜塾や貞山・北上・東名運
河研究会などの調査活動で、「ふるさと野蒜」に多くの知見
が蓄積しつつあります。高校生と共に野蒜海岸・洲崎湿地の
自然の営みについて情報発信と意見交換！

○ 生き物たちから見た「ふるさと野蒜」の水辺環境

- 野蒜塾 & 貞山・北上・東名運河研究会 + 東北大学 + 福島大学 + 東松島市
- ・野蒜海岸の地形の成り立ちと塩性湿地の生き物たち ~ボラとサギの生き残り戦略~
- ・洲崎湿地のアオコ発生状況 ~汽水域でのアナベノ属のアオコ発生~ 東北大学
- ・野蒜海岸の利活用 ~ルールづくり~
- ・洲崎湿地の水辺環境整備について 東松島市 + 福島大学
- ・おらほのこどば ~「ん」で始まる野蒜弁~

○ 高校生から見た「ふるさと野蒜」の水辺環境

- 仙台二華高校
- ・野蒜海岸のスナガニ調査から見る水辺環境 2年・課題研究Ⅱ
- ・洲崎湿地のコブハクチョウの子育て調査から見る水辺環境 2年・課題研究Ⅱ
- ・野蒜海岸の防災林の保育とマツバの堆肥化 国際バカロレア5名・5題
- ・松島湾層群松島層より見つかったガラス質火山礫から推定される火山活動 2年 地学部

体長23cmのボラ



今年もどわのく野蒜海岸・
洲崎浜の塩性湿地！
魚影・その数、数百以上...



塩性湿地のボラ。冬に向かって水深が低下すれば、
サギたちの餌になるのは必然！

野蒜海岸



野蒜海岸
洲崎湿の看板
レジャー宮池とは



2024.04.22



2024.05.17



2024.06.01

朝の再生



海浜植物への影響懸念
車の乗り入れ
2024.06.08



野蒜海岸・防災林
どう保育？
2024.06.30



防災林 マツバの堆肥化

水辺・絆 プロジェクト

本事業は、一部「水辺・絆
プロジェクト2024」の成果
を交えて紹介します

高校生と見る「野蒜海岸・洲崎湿地」第7弾 水辺環境フォーラム ～次世代につなぐ～

2024年 8月1日(木) 09:30～12:30

今回は、水の流れと風による砂の動きを考えます。堆砂は
明治政府直轄事業の野蒜築港の頓挫や東名運河の開削の重要な
要因でした。高校生と共に野蒜海岸・洲崎湿地の自然の宮みや
歴史・くらしについて情報発信と意見交換を行いました

○基調講演「鳴瀬川・吉田川の河口から見た流域治水」～流砂・漂砂とは～

野蒜海岸を育めた鳴瀬川・吉田川・北上川… 国土交通省北上川下流河川事務所 所長 斎藤喜浩

○話題提供「ふるさと野蒜」の水辺環境

・岩石の結晶から読み解く奥松島の地層と地形の成り立ち 仙台二華高校・地学部 元副 花松俊一

・野蒜海岸の砂浜の機能と利活用 貞山・北上・東名運河研究会 野蒜塾

砂浜がやせる・ふとる？風のしわざ・飛砂？ 野蒜海岸の砂浜地形と海浜植物、砂浜海岸の防災機能とは…

野蒜海岸のルールづくり、知ってる？レジャー宮池など、野蒜海岸の現状と課題を紹介します

○高校生から見た「ふるさと野蒜」の水辺環境 仙台二華高校・2年課題研究Ⅱより

・どうする？ 野蒜海岸・防災林の保育

野蒜ヶ丘の造成残土を盛土してクロマツを植林した野蒜海岸の防災林、これから長い保育が必要です。その間、マツバ、
松ぼっくり、間伐材、光競合を起こす雑草などの除去が多量に排出されます。その利活用として、マツバの堆肥化、
土壌動物の機能、マツバサイダー、苦火剤、クズのリースづくりなどの取り組みを紹介します

・どうなる？ 野蒜海岸の砂浜と海浜植物

砂浜断面と海浜植物の機能、海岸への漂着物の役割などを学びます

○現地見学会 2024年 8月1日(木) 13:30～15:00

野蒜海岸・砂浜地形の成り立ち・歴史とくらし～防災林・林内の

環境調査・マツバの堆肥化～実生のクロマツ群落・鷺ノ巣岩～

砂浜海岸と海浜植物・防災機能・ルールづくり



防災林でのマツバ調査と野蒜海岸の砂浜機能の視察 2024.08.01



すずバンのつがいと4羽の子カモ 洲崎湿地 2024.06.10

高校生と見る「野蒜海岸・洲崎湿地」第8弾 水辺環境フォーラム ～次世代につなぐ～

2025年 2月1日(土) 09:30～12:45 (内容は1ページを参照)

野蒜海岸は幕末から明治の時代に約5m/年の海岸線の前進があった砂浜です。
明治時代の野蒜築港の頓挫も東名運河の開削も流砂・漂砂・飛砂による砂の移動
が原因のようです。現在、東日本大震災後の砂の移動を観測中です。

仙台二華高校の授業・クラブ活動や野蒜塾と貞山・北上・東名運河研究会によ
る野蒜海岸・洲崎湿地の調査活動で「ふるさと野蒜」に多くの知見が集積され、
その一部が2025年3月7日から始まった国際防災フォーラムで発表されました。

これまで、東日本大震災後に行政や研究機関での調査が十分でなかった野蒜海岸
の研究結果が、次世代を担う高校生たちによって、国内外に発信が始まりました

2024.12.01



海浜植物の飛砂防止機能調査



実生のマツ飛砂効果



洲崎湿・ビーチコートのネット種による飛砂防止効果



2024.11.10



11.11



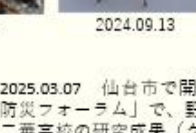
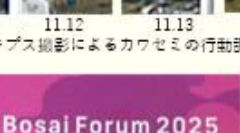
2024.11.11



2024.09.13



洲崎湿地 タイムラプス撮影によるカワセミの行動調査



2024.08.05



2025.03.07 仙台市で開催された「国際
防災フォーラム」で、野蒜海岸での仙台
二華高校の研究結果(クロマツ林の土壌
動物、マツバの堆肥化、マツバのペレッ
ト化、マツバサイダー)をポスター発表

洲崎湿地



2024.02.29



2024.04.22



2024.06.01



2024.06.19



2024.06.10



2024.06.30



2024.07.09



2024.07.09



2024.08.05



2024.08.05



2024.08.05



野蒜海岸や洲崎湿地の水辺に立つと、多様な生態系サービスを受けていることを感じます！



2017～2020年の調査より 野蒜海岸・洲崎湿地の生態系ピラミッド

名勝松島の野蒜海岸の砂浜は、仙台湾岸で唯一、沖合に人工構造物がない貴重な景観を有する自然遺産です。砂浜海岸の防災機能を阻害し、生態系を乱し、砂浜を攪乱する人為的な行為を行うべきではありません(車の乗り入れなど)。

また、野蒜海岸・海水浴場のある洲崎浜に「密漁禁止」の立て看板があります。河川や海岸は公共のもの、誰もが利用できます。一方、漁業権の範囲とは...などの共通理解が不足しています。

単に禁止ではなく、その機能と役割を理解し、協力体制を進めるための共通認識創生の一つとして、リーフレットなどの社会発信が必要です

鳴瀬川・吉田川・北上川等の河川流域からの土砂供給・流砂(野蒜海岸・洲崎湿地の地形の成り立ち)→波・流れによる漂砂で砂州・砂浜が形成→砂浜への有機漂着物→砂浜の虫たちが食す→海岸の腐敗臭防止・衛生状態の確保→その代謝物を微生物が分解し、N,Pの栄養塩を回復→その栄養塩で海浜植物が成長し、砂浜に根や茎を張り巡らす→風による飛砂を防止し、砂浜の衰退を防ぐ→高潮・高波・津波への自然堤防の形成→防災機能？

この山・川・海の宮みを理解し、野蒜海岸・洲崎湿地の生態系サービスを、次世代につないでいきたいものです

砂浜海岸に防災機能？

～野菜海岸の砂と生き物のものがたい～

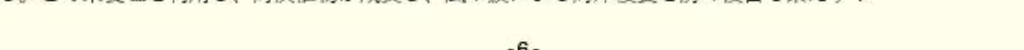
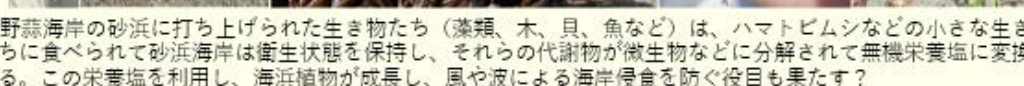
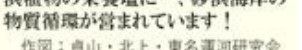
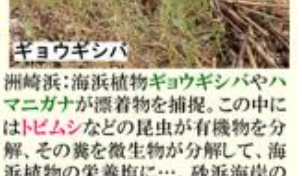
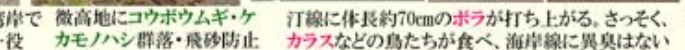
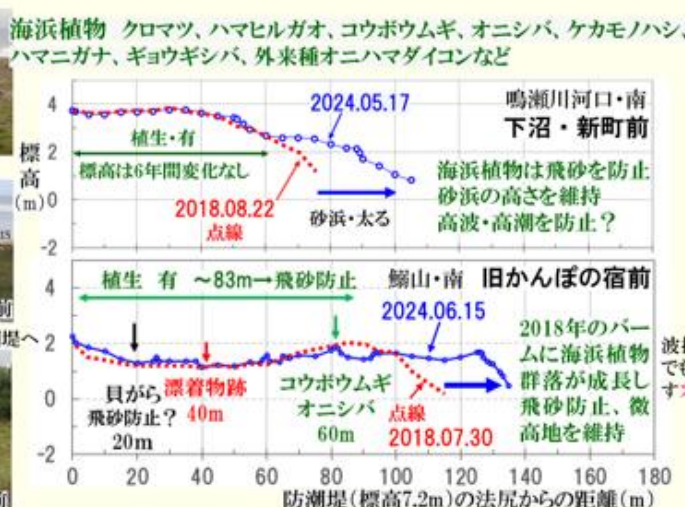
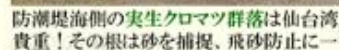
不老山や鰐山で波が砕け、鷺ノ巣岩が海の中の岩であった明治初頭の絵図、その後、海岸には明治30年から潮害防備、同44年に景観保全の風致、戦後、昭和28年から飛砂防備の松林を整備…。

東日本大震災後、宮城県が標高7.2mのコンクリート製の防潮堤、その陸側に野蒜ヶ丘の造成残土を用いた10mの防災林、そして東松島市が二線堤を整備…。復興工事中、防潮堤まで高波・高潮が打ち上がった砂浜も、防潮堤の海側に実生のクロマツや海浜植物の群落が成長し、汀線が数十メートル前進…。

水の流れによる流砂・漂砂そして風による飛砂、いずれも災害のイメージ?…。近年、飛砂現象を砂浜や砂丘形成の自然堤防と位置付け、海浜植物と砂の移動を踏まえた防災機能の議論が開始…。

野蒜海岸の複合災害に、人工的な構築物と自然の営みが醸し出す砂浜の防災機能…。

9月1日は防災の日、これからも目が離せません！



野蒜海岸の砂浜に打ち上げられた生き物たち(藻類、木、貝、魚など)は、ハマトビムシなどの小さな生き物たちに食べられて砂浜海岸は衛生状態を保持し、それらの代謝物が微生物などに分解されて無機栄養塩に変換される。この栄養塩を利用し、海浜植物が成長し、風や波による海岸侵食を防ぐ役目も果たす?



～次世代につなぐ～
野蒜海岸の種子



洲崎湿地の生き物たち



野蒜海岸の植物たち



洲崎湿地 夕暮れ時の光たち 比類初会成写真 撮影 後藤光亀 2010.12

野蒜海岸・洲崎湿地
水辺環境フォーラム
～次世代につなぐ～
野蒜塾



同校生に見る『野蒜海岸・洲崎湿地』水辺環境フォーラム ～次世代につなぐ～

発行：野蒜塾 作詞・貞山・北上・東名運河研究会 2025年3月版
編集：早川宏 多田孝基 飯川悦子 木島照男 斎藤勇 大山一之 山縣嘉恵 後藤光亀
連絡先：野蒜塾 早川宏 080-1855-2848 後藤光亀 090-4476-0810 kokigotoh@gmail.com
無断での内容・画像の転載、複製、改変等を禁止します
『水辺・絆プロジェクト2024』の助成を受け発行しています

水辺・絆
プロジェクト



海岸植物の種子・貞山 飯川悦子

野蒜海岸の貝類たち



○ 令和6年度 活動報告 ②

国の「史跡相当」遺跡相当リスト 42件を選定 文化庁が初公表、開発懸念で 2023年10月27日 共同通信

文化庁は令和5年10月27日、全国の埋蔵文化財（遺跡）の中から国指定の史跡に相当する価値がある27県の計42件を初めて選び、公表した。史跡になれば開発行為に強い規制がかかるが・・・

遺跡のある土地は全国に約47万件あり、各自治体が「周知の埋蔵文化財包蔵地」として地図で公表するなどしている。このうち史跡指定されるのは学術的価値が高く所有者の同意が得られたものに限られる。

○ 第一期リスト掲載遺跡一覧（東北地方分）

1. 福島城跡（青森県五所川原市）
2. 早稲田・野口貝塚（青森県三沢市）
3. 南部家墓所（岩手県盛岡市）
4. 黒山の昔穴（岩手県九戸村）
5. 野蒜築港跡（宮城県東松島市）…近代遺産では全国唯一
6. 仙台藩主伊達家墓所（宮城県仙台市）
7. 胡桃館遺跡（秋田県北秋田市）
8. 八十里越（福島県只見町・新潟県三条市、魚沼市）

○ 土木学会土木史委員会と共同で、国の史跡相当リスト登録「野蒜築港跡」を視察 2024.09.04

9/4、14:00～、土木学会土木史委員会4名、東松島市4名、野蒜塾4名、野蒜築港ファンクラブ1名などが参加し、野蒜海岸の堆砂状況、市街地跡やレンガ橋台の状況を視察しました。視察後、有志で懇談会が開催され、史跡の現状と今後の課題に関し、有意義な情報・意見交換となりました。



野蒜海岸・二線堤



鳴瀬川河口・突堤



市街地跡



懇談会・かつちゃん（撮影：飯川悦子）

○ 参加者

知野泰明	日本大学 工学部土木工学科 教授	(公社) 土木学会土木史委員会 前委員長
中井 祐	東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 教授	(公社) 土木学会土木史委員会 委員長
土田宏成	聖心女子大学 現代教養学部 史学科 教授	(公社) 土木学会土木史委員会 幹事
大波修二	株) オリエンタルコンサルタンツ 関東支社 都市政策・デザイン部	
木村 晃	国土交通省東北地方整備局 北上川下流河川事務所 副所長	
川口貴史	東松島市 育委員会 文化財係 係長 兼 奥松島縄文村歴史資料館 副館長	
松崎哲也	東松島市 教育委員会 文化財係	
菅原弘樹	奥松島縄文村歴史資料館 (元館長)	
森 祐樹	東松島市 建設部建築住宅課長 (資料提供)	
小山 修	株式会社 奥松島観光物産公社 代表取締役 (前東松島市 副市長)	
松川清子	野蒜築港ファンクラブ	
佐々木勝久、飯川悦子、門脇利勝	野蒜塾	
後藤光亀	貞山・北上・東名運河研究会 代表世話人、野蒜塾 代表	
	(公社) 土木学会東北支部選奨土木遺産選考委員会 副委員長	

○ 令和6年度 活動報告 ③

北上川フィールドワーク～野蒜海岸・洲崎湿地編～ 仙台二華高校 2024.09.26

9/26（木）9:10～15:00、1年生70名が例年通り4コースの研修を行いました。天候にも恵まれ、順調に研修が終了しました。また、今回は5年目であるので、生徒70名全員に研修のアンケート調査を実施しました。アンケート結果は、サポート頂いた関係機関にも配布し、これら生徒の感想を参考に今後の課題と展開に関する情報共有をしています。なお、下記の写真で生徒の顔が半別出来るものは、ネットなどの利用を控えてください。その情報でいじめなどの問題が発生しており、学校関係者が注意喚起をしています。ご協力をお願いします。

○ 開会式



サポート隊の紹介と挨拶

仙台二華高校・生徒代表の挨拶 肖像権に注意 佐藤校長先生の挨拶



Aコース 流域治水・野蒜築港など（北上川下流河川事務所・野蒜塾） 防災林の保育（宮城県）



Bコース 海浜植物、砂浜海岸への漂着物、昆虫、物質循環、海浜側物の防災機能…（野蒜塾・地域環境計画）

Cコース 洲崎湿地の復興創生（東松島市 貞山・北上・東名運河研究会）湿地の水循環にサイフォンの原理・模型での説明が好評！ 松島湾と洲崎の樋管のゲート操作は今年も人気！

生き物調査では、昨年に比較しアメリカザリガニが少なかった。また、バードウォッチングは大好評であった！
また、洲崎塩田跡の低地での地理院地図の取り扱い、今年も生徒のスキル習得が順調！



Dコース 水環境と生態系（野蒜塾・貞山・北上・東名運河研究会）、地理院地図（国土地理院東北地方測量部）

○ 閉会式



サポーター隊からのフィールドワークの講評

生徒代表の挨拶



最後に集合写真 お疲れ様でした！

お見送りです！

○ 令和6年度 活動報告 ④

史跡めぐり「海の幸と東北の三大近代土木遺産『野蒜築港跡』を訪ねる旅」万世コミセン 2024.09.29

9/29、山形県米沢市の万世コミセン主催の史跡めぐりが実施されました。貞山・北上・東名運河研究会と野蒜塾から、佐々木・飯川・後藤がバスに同乗して解説。



歓迎の挨拶 奥松島観光物産公社 小山社長 野蒜塾 早川副代表 野蒜築港跡 レンガ橋台 黒沢敬徳碑



黒沢敬徳碑の説明板 野蒜築港市街地跡のレンガ橋台や野蒜測候所跡にも説明板の設置が必要と強く感じました！

万世コミセン 8:15 発→国見 SA・トイレ休憩→野蒜市民センター10:35 着、

貞山・北上・東名運河研究会、野蒜塾・乗車、10:40 発→野蒜築港跡・北上運河→びつき岩→鳴瀬川河口突堤→震災復興伝承館・東名運河→キボッチャ・トイレ→野蒜市民センター12:10 着、12:15 発→たんかん亭（松島町）食事（60分）→松島観光物産館・買い物→松島おさかな館・買い物・見学 14:30 発→国見 SA/トイレ休憩→万世・コミセン 16:30 着・解散

○ 令和6年度 活動報告 ⑤

「野蒜築港跡」視察 初代山形県令三島通庸をNHK大河ドラマに推薦する会 2024.10.12、10.20

10/20（日）「初代山形県令三島通庸をNHK大河ドラマに推薦する会」の方々が野蒜築港跡を視察しました。



2024.10.20 奥松島観光物産公社・小山社長、高橋県議など歓迎の挨拶 野蒜築港、新鳴瀬川やレンガ橋台での説明



洲崎浜の二線堤で、潜ヶ浦の汽船錨地や野蒜築港頓挫の要因の一つである漂砂による砂浜海岸の前進状況を説明

国の重要文化財の石井閘門を視察 北上川下流河川事務所の木村副所長が説明

2024.10.20 野蒜築港視察 震災伝承館→東名運河→洲崎浜・二線堤→びつき岩→野蒜築港市街地跡→キボッチャ(昼食)→仙石線・奇跡の丘→鳴瀬川・吉田川の背割り堤→石井閘門→石巻かわまち→帰路へ

東北の近代三大土木遺産（野蒜築港、安積疏水、万世大路）のインフラツアー展開の一環です。選挙と重なり、参加人数が14名となりましたが、土木県令と呼ばれた初代山形県令三島通庸の明治初めのインフラ整備を顕彰しました。三島通庸の山形県令時代の事業は以下の通り。

- ・万世大路：明治天皇が開通式で列席、翌年「万世大路」と命名
- ・山形の石橋群の建設、後に福島県令時代に福島石橋群の建設に貢献、また「安積疏水」の完成式典に参加
- ・関山隧道：山形県から宮城県への野蒜築港への交通路を確保（強調文字：土木学会選奨土木遺産に認定）

これら東北地方の三大近代土木遺産の顕彰を進めるとともに、交流も深めていきたいと思ひます。

R6 年度 活動実績（貞山運河『御舟入堀』プロジェクト）

年月日	内 容
6 月 23 日	貞山運河クリーンアップ大作戦♪（雨天中止） 貞山公園の清掃活動。
9 月 23 日	貞山運河をバスで巡る旅（バスツアー） 明治潜穴・石井閘門・普誓寺・釜閘門・大曲閘門・野蒜築港・北上運河・東名運河などを巡りました。参加者 16 名。
10 月 31 日	北上川・みやぎの運河群の歴史再現プロジェクト 御城米舟運の再現。一般社団法人貞山運河ネットの事業に共催。参加者 10 名。
3 月 23 日	貞山運河クリーンアップ大作戦♪ 貞山公園の清掃活動。参加者 12 名。
	その他
毎月	役員会
5 月 17 日	通常総会
	貞山運河ネット 参画
	みやぎの運河群連絡調整会議 参画

令和7年度 事業計画（案）

（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

1. 清掃活動（5月、10月）

次回は10月11日10時より貞山公園にて。



貞山公園の清掃活動。近年は近隣高校生の参加もあり。



清掃活動の後は、貞山運河についての解説を。

2. 貞山運河を巡るツアー寒風沢編（11月2日）

例年バスツアーを行っていましたが、今回は貞山運河を語るうえで欠かせない寒風沢を歩きます。

3. 貞山運河ネット事業への共催（11月頃）

毎年恒例の舟運事業への参画。

4. 仙台湾岸歴史協議会との共同事業

5. ツアーづくり事業

今回のツアーは貞山運河を知ってもらう体験ツアーを考えております。

貞山運河の歴史や実際に運河でカヤック、**SAP**、釣りなど体験型で大人から子供まで楽しく貞山運河を知ってもらうツアーを旅行会社の方にも協力をもらいながら考えております。

観光客はもちろん、地元の子供たちにも自分の住んでいる地域の歴史を知る良いキッカケになってもらえたらとも思っております。

6. 定例役員会12回（第3週水曜日16時）

「仙台湾岸運河群の歴史と記憶を伝える協議会」の活動



【活動結果と予定】

「仙台湾岸運河群」とは（規約 第3及び4条）

[貞山運河]、[北上運河] 及び [東名運河] に、併せて [野蒜築港]、幕府米や藩米などの湊であった [寒風沢] も対象

協議会の目的（規約 第2条）

- ① 運河群の歴史と地域の記憶を学び、広く伝える
- ② 湾岸地域の豊かな地域資源を掘起し、守り・育て、持続可能な活用と次世代への継承
- ③ 地域資源を結ぶ交流と連携を促進し、心豊かで誇りある地域づくりに貢献

協議会の事業（規約 第4条）

- (1) 運河群、寒風沢湊や野蒜築港などの歴史の調査研究
- (2) 地域資源の保存・継承に関する実践と支援
- (3) 本協議会の活動に係わる情報発信
- (4) 各地域及び各団体との交流・連携促進の実践と支援

【設立総会】 令和4年5月28日(土) 【出席者】 31名

【令和7年5月末現在 会員数 41名】

実施日	内 容	講 師 等	備考
R 4 年度	5/28 【設立総会記念講演会】 「野蒜築港事業中止後の 北上・東名運河の利用状況」	斎藤 善之氏（東北学院大学教授）	
	10/2 【寒風沢研修会】 第1部:講演会「近世～近代の太平洋航路と寒風沢・石浜港」 第2部:寒風沢島探訪	斎藤 善之氏（東北学院大学教授） 案内:NPOみなとしほがま	
	2/11 【地名講演会】 「仙台湾岸運河群周辺の地名」	太宰 幸子氏（宮城県地名研究会会長）	
R 5 年度	5/13 【総会記念講演会】 「御舟入堀と御舟曳堀～仙台城下への物流ルート」	畑井 洋樹氏 （仙台市歴史民俗資料館学芸室長）	
	11/26 【野蒜交流・研修会】 第1部:講演会 「野蒜築港と仙台湾岸の運河群」 第2部:東名運河・野蒜築港跡探訪	後藤 光亀氏/松川 清子氏 （貞山・野蒜・北上運河研究会世話人 /野蒜築港ファンクラブ事務局長） 案内:野蒜塾・野蒜築港ファンクラブほか	
	2/11 【講演会】 「蒲生御蔵跡第1次発掘調査結果の報告」	平間 亮輔氏（仙台市文化財課）	
R 6 年度	5/18 【総会記念講演会】 「昭和時代の写真や映像でみる仙台市沿岸のまちなみ」	佐藤 正実氏（風の時編集部代表 & 3.11オモイデアーカイブ代表）	
	12/8 【木引堀交流研修会】 第1部:フォーラム ①「木引堀の歴史」 ②「活動報告」 第2部:木引堀探訪	①川又隆央氏(岩沼市生涯学習課主幹) ②山田真氏(新貞山ローイングクラブ事務局) 案内:川又隆央氏(岩沼市主幹)	
R 7 年度	5/24 【総会記念講演会】 「南蒲生の変遷」	吉田 清明氏(南蒲生吉田家当主)	
	秋予定 「貞山堀『御舟入堀』プロジェクト」との交流会	(検討中)	
	2～3月 予定 【運河の歴史等に関する講演会】 「仙台湾岸の津波痕跡」(仮)	(検討中)	

R6.5.18総会記念講演会

R6.12.8木引堀交流研修会



仙台湾岸運河群の歴史と記憶を伝える協議会（略称:仙台湾運河群歴史協議会）事務局

TEL 090-5599-7619(吉田) Email sendaiwan unga@gmail.com

- ◆当協議会は令和4年5月に設立し、これまで貞山運河（木引堀・新堀・御舟入堀）、東名運河、北上運河、及び寒風沢湊、野蒜築港の歴史等講演会のほか、現地探訪を兼ねた研修会として、令和4年度に「寒風沢研修会」、令和5年度に「野蒜交流研修会」を開催してきました。
- ◆令和6年度の交流研修会では、木引堀をテーマとして、歴史などを学ぶとともに阿武隈川から名取川までを探訪しました。

第1部:フォーラム

[10時～12時]

会場:岩沼市民図書館 2F セミナールーム「阿武隈」

① 基調講演「木引堀の歴史」 [1時間30分]

講師:川又 隆央 氏(岩沼市教育委員会生涯学習課主幹兼文化財係長)

貞山堀の中でも最も古い江戸時代前期に開削された木引堀の歴史を学ぶとともに、東日本大震災の復興事業に伴う発掘調査などで確認した、明治期以降に運河を維持するために行われた土木工事の痕跡についてもご紹介頂きました。

限られた期間での復旧・復興事業の中で、「木引堀」は遺跡であり、今回が歴史上で最も大規模な改変となることから記録保存のため調査を行うとともに、大津波に耐えた堤防の松並木を保存するための岩沼市の取り組みは大変に評価されるべきであると思います。

また、木引堀沿岸の6集落が集団移転した「玉浦西まちづくり住民協議会」前会長からも木引堀の思い出や松並木保存を評価していることなどについて話して頂きました。

② 活動報告「新貞山ローイングクラブの活動」 [30分]

講師:山田 真 氏(新貞山ローイングクラブ 事務局長)

貞山堀で活動する同クラブのあゆみや活動内容などをご紹介頂きました。

東北大学漕艇部は、全日本大学選手権でも強豪として知られていますが、このようなOBの活動もそれを支えていると思いました。



会場の様子



挨拶:佐藤会長



基調講演:川又氏



前納屋新浜住民:森氏



活動報告:山田氏

第2部:現地探訪会

[13時～15時]

「木引堀を巡る」 案内:川又 隆央 氏

新浜橋から名取川関上水門までをマイクロバスで巡りました。※岩沼市民図書館出発・到着



新浜橋(①)より望む保存した松並木とそのための護岸堤防

二野倉(⑤)に残った石倉
※2階窓の青板が津波水位

新浜橋(①)より望む新浜水門



千年希望の丘(④)より望む長谷釜明神社



千年希望の丘(⑦)より望む赤井江



関上水門(⑪)より望む新堀

R6 年度 活動実施（貞山運河倶楽部）

年月日	内 容
5 月 19 日	貞山運河小屋めぐり 37 人参加
8 月 3 日	貞山運河の渡し船イベント・和船の櫓漕ぎ体験会 66 人参加
9 月 15 日	貞山運河小屋めぐり 46 人参加
10 月 13 日	貞山運河の渡し船イベント・和船の櫓漕ぎ体験会 36 人参加
11 月 17 日	貞山運河小屋めぐり 44 人参加
2 月 16 日	貞山運河フォーラム 50 人参加
3 月 9 日	貞山運河小屋めぐり 68 人参加
9 月 28 日、29 日	いい川・いい川づくりワークショップに参加 (会場：石川県白山市)

R7 年度 活動計画（貞山運河倶楽部）

年月日	内 容
5 月 18 日	貞山運河小屋めぐり 40 名参加
8 月 2 日	貞山運河の渡し船イベントの中で、和船の櫓漕ぎ体験会 ⇒雨天中止
9 月 14 日	貞山運河小屋めぐり 50 名参加
10 月 5 日	貞山運河の渡し船イベントの中で、和船の櫓漕ぎ体験会
11 月 16 日	貞山運河小屋めぐり
2 月 23 日	貞山運河フォーラム
3 月 8 日	貞山運河小屋めぐり
10 月 25~26 日	いい川・いい川づくりワークショップ 参加未定 (会場：神戸市)

R6 年度 活動実績（貞山運河ネット）

[illegible]

貞山運河ネット

令和7年度計画は次の通りです。

- ① 藤崎百貨店での「貞山運河イベント」の開催 (実施済)
「貞山運河物語」展を当会および月刊りらく主催で開催した。
2025年8月6日～12日(7日間)
会場：藤崎7F催事場
集客：9400名
- ② 仙台市立七郷小学校での出前授業開催 (実施済)
2025年9月12日(金) 1校時～4校時
5年生全員
- ③ みやぎの運河群の冊子作製
11月完成予定
8000部印刷のうえ運河沿川自治体の小学校6年生に配布予定。
- ④ みやぎの運河群を活用したイベント開催
北上川&みやぎの運河群を活用し登米の小学生の作った米を登米から名取市閑上のかわまちてらす
閑上迄運びお振舞実施
10月26日、30日および11月3日
- ⑤ 貞山運河 歴史セミナーの開催
実施時期 未定
会設立時から始まった歴史セミナーは今回4回目。聴講希望者も増加しており定着化が進んでいる。
- ⑥ 運河を活用した実証実験
実施時期 未定
運河の生態系に関する科学的な実証実験を「貞山・北上・東名運河研究会」代表後藤元東北大学准教授と協同して行う。

以上

R7 年度 活動計画（新貞山ローイングクラブ）

年月日	内 容
3 月	大船渡山火事支援（大船渡温泉）
4 月	岩沼乗艇会
5 月	岩沼乗艇会
6 月	全国マスターズレガッタ（琵琶湖）エイト、ナックルフォア等
7 月	岩沼乗艇会
8 月	長沼乗艇会 山形大学漕艇部との懇談
9 月	インカレ応援
10 月	岩沼乗艇会（予定）
11 月	岩沼乗艇会（納会）（予定）
12 月	忘年会



[ホーム](#) > [くらし・手続き](#) > [環境・衛生](#) > [環境](#) > 多賀城市の環境啓発事業

いいね！ 0

ポスト

更新日：2025年9月11日

多賀城市の環境啓発事業

令和7年度事業

たがじょう秋の生き物調査隊

日にち：令和7年9月7日（日曜日）

場所：多賀城みずむすび公園

公園内を散策し、園内に生息する植物や生き物を調査しました。気温が高く虫は少なかったものの、宮城県森林インストラクター協会の方々とともに枝木を使ったネイチャークラフトを作ったり、草むらから飛び出すショウリョウバッタを追いかけたりと楽しむ様子が見られました。

近くの貞山運河では、下流域のゴミ拾いや釣りの体験をしました。初めて釣りを体験するという参加者も多く、ケフサイソガニやハゼを釣り上げるなど児童・保護者ともに新鮮な体験を満喫しました。



あやめまつり生き物観察ミニツアー

日にち：令和7年6月14日（土曜日）・15日（日曜日）

場所：あやめ園～多賀城政庁跡周辺

あやめまつりで賑わう園内や多賀城跡周辺を散策し、生息している植物や生き物を観察しました。東北緑化環境保全株式会社の方々の解説を受け、ふわふわとした手触りの葉っぱに驚いたり、いろいろな香りの草花を嗅いでみたりと新鮮な体験をしました。多賀城市内にもさまざまな生き物が生息していることを知り、自然の豊かさを実感しました。



令和6年度事業

たがじょう生き物調査隊

日にち：令和6年5月19日（日曜日）

場所：多賀城みずむすび公園

公園内を散策し、園内に生息する植物や生き物を調査しました。参加した児童たちは、宮城県森林インストラクター協会の方々とともに草花や生き物を探しました。用意されたオタマジャクシやヘビに触れてみたり、ネイチャークラフトの作成に取り組んだり、体を動かし楽しむ様子が見られました。

近くの貞山運河では、下流域のゴミ拾いや釣りの体験をしました。ポイ捨てされたたくさんのペットボトルや缶などを拾ったり、初めての釣りに熱中したりしました。



あやめまつり生き物観察ミニツアー

日にち：令和6年6月15日（土曜日）・16日（日曜日）

場所：あやめ園～多賀城政庁跡周辺

あやめまつりで賑わう園内や多賀城跡周辺を散策し、生息している植物や生き物を観察しました。東北緑化環境保全株式会社の方々の解説を受け、多賀城市内にもさまざまな生き物が生息していることを知りました。参加者は、普段はあまり機会のない自然との触れ合いを満喫しました。



夜の生き物観察会

日にち：令和6年6月29日（土曜日）

場所：市川字館前周辺（小学生による古代米の作付場所）

市内の小学生が田植えをした田んぼの周辺で、特別史跡のミニ講座や生き物の観察を行いました。東北緑化環境保全株式会社の方々の解説を受けながら、田んぼ脇の水路を覗いたり、多賀城市内に生息する動物の特徴を学んだりしました。



たがじょう環境研究所-南極支部-

日にち：令和6年7月27日（土曜日）

場所：中央公民館（文化センター内）

第49次南極地域観測隊の石井洋子さんのお話は、観測隊の生活や南極の気候・生き物に関する内容でした。南極は地球全体を冷やす役割を持っており、南極の環境は地球の環境とつながっていることを学びました。

体験ブースでは、うちエコ診断や南極クイズ、発電体験に取り組んだり、多賀城市で採集した昆虫の標本を見たり、多賀城高校SS科学部で研究している「マクラギヤスデ」についてのクイズに挑戦したりしました。



令和5年度事業

たがじょう春の生き物調査隊

日にち：令和5年6月4日（日曜日）

場所：多賀城みずむすび公園

公園内を散策し、園内に生息する植物や生き物を調査しました。参加した児童たちは、カナヘビや草花を宮城県森林インストラクター協会の方々とともに採取したり、ネイチャークラフトに取り組んだり、体を動かし楽しむ様子が見られました。

近くの貞山運河では、下流域のゴミ拾いや釣りの体験をしました。普段の生活では触れることの少ない自然を満喫したり発見や学びを得たりと、充実した時間を過ごしていました。



たがじょう水辺の生き物調査隊

日にち：令和5年6月25日（日曜日）

場所：砂押川市川橋付近

多賀城市内の小学生と保護者が、砂押川にどのような生き物が生息しているのか調査しました。川に入ったことがないという児童も多く、川の中を観察したり魚やザリガニを捕ったりと初めての体験を楽しんでいました。

いろいろな生き物が関わり合う生態系から得られる恵みを「生態系サービス」といいます。今回見つけた生き物たちも生態系の一部分です。参加した児童たちは、生物多様性を守ることが私たちの暮らしを支えることに繋がることを学びました。



夏季特別環境講座

日にち：令和5年8月19日（土曜日）

場所：大代地区公民館



あなたの知らない世界？

9月6日、貞山運河中州で、大代地区公民館主催の「不思議と怪談ナイト」が開催されました。

「恐怖」をメインテーマに、文化や地域を考えるイベントとして、人はどんなことに恐れ、大切にしてきたかを8人の参加者で考えました。

前半では多賀城に伝わる伝承や多賀城にある異界と境界について学び、後半では参加者がそれぞれの恐怖体験や異界・境界を意識するエピソードを披露。

多賀城の境界の一つでもある貞山運河で、夢と現実、自然と人工物、山の環境などの「恐怖」を語り合っ、まだ暑い夜の時間を、少しひんやりと過ごしました。

たがじょうの秋の自然と遊ぶ

9月7日、「たがじょう秋の生き物調査隊」が、多賀城みずむすび公園で開催され、親子27組が参加しました。

毎回、参加が抽選になるほどの大人気のイベント。

特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会所属のインストラクターと一緒に、貞山運河での釣り、ネイチャークラフト、虫取りなどを楽しみました。

公園内の散策では、自然遊びの達人でもあるインストラクターが子どもたちに遊び方を伝授。葉っぱを即席のロケットにして飛ばしたり、軽やかな草笛の音色を響かせたり。親子で、多賀城の豊かな自然の中での秋のひとときを思いっきり楽しんでいました。



名取川藤塚地区かわまちづくり計画

令和7年10月

仙台市

海岸公園（藤塚地区）基本計画

計画の目的

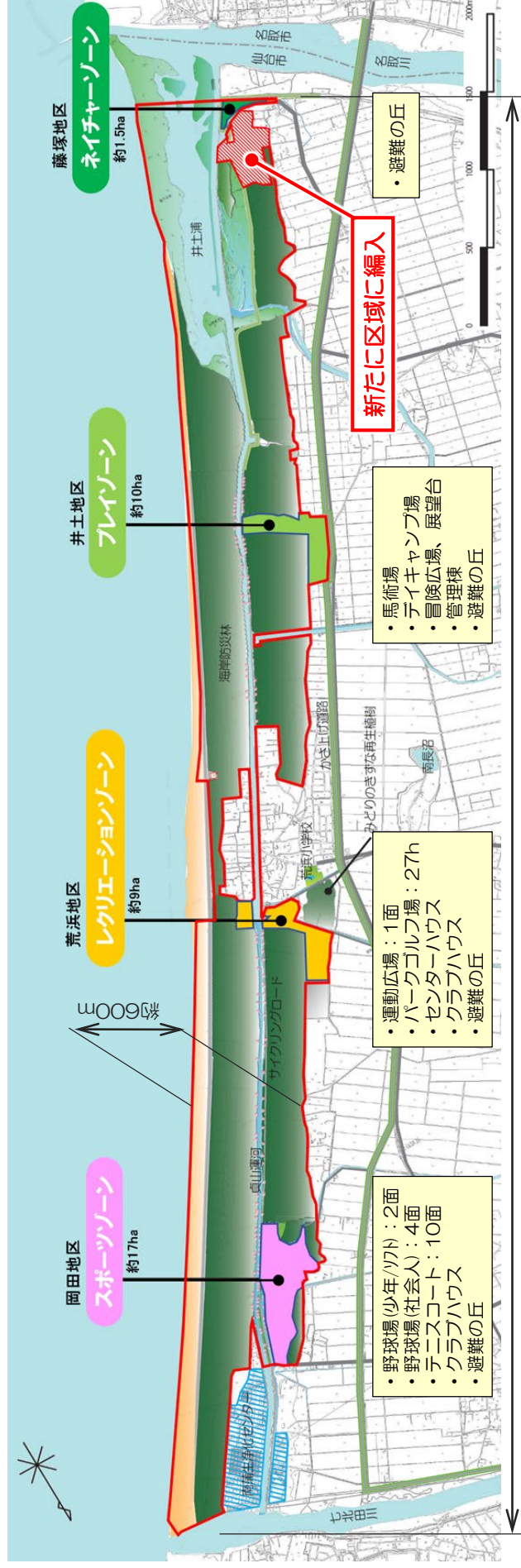
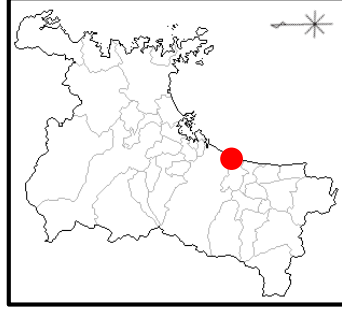
- ▶ 仙台市東部沿岸地域に位置する広域公園（計画面積552.1ha）。
- ▶ 貞山運河を中心に両岸の海岸防災林を形成するクロマツ林、湿原、干潟等の豊かな自然環境を保全。
- ▶ 岡田、荒浜、井土、藤塚地区の4地区を施設地区として整備を進める。
- ▶ 東日本大震災に伴う大津波により全域が大規模被災（損壊流出）。
- ▶ 「海岸公園復興基本計画」（平成25年策定）に基づき、防災公園の位置づけのもと、災害復旧に着手。

平成30年に4地区の全面利用を再開。

- ▶ 近年、防災集団移転跡地活用事業等により民間施設が立地するなど、被災当初からの周辺環境の変化。
- ▶ 隣接する名取市を含めた広域的な連携や回遊性向上の要求の高まり。
- ▶ 若林区藤塚地区における防災集団移転跡地活用事業による「公共利用ゾーン」を海岸公園区域に編入し、整備することを決定。

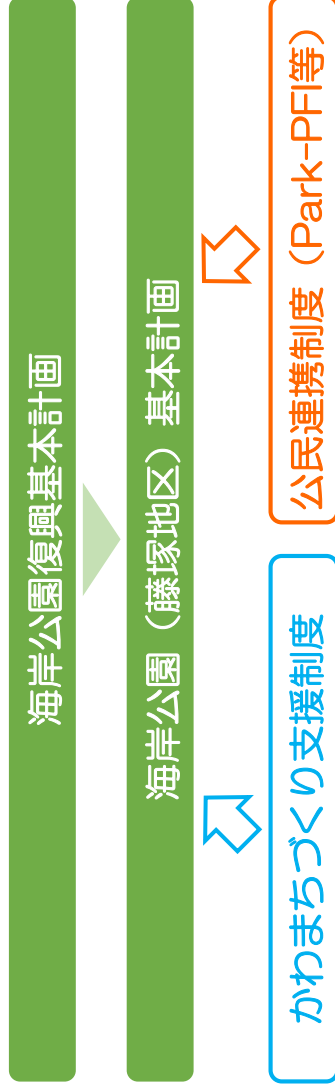
▶ 令和5年6月、「海岸公園（藤塚地区）基本計画」を策定。

▶ かわまちづくり支援制度やPark-PF等の公民連携制度を活用し、国や民間事業者と連携した賑わい創出を図る。



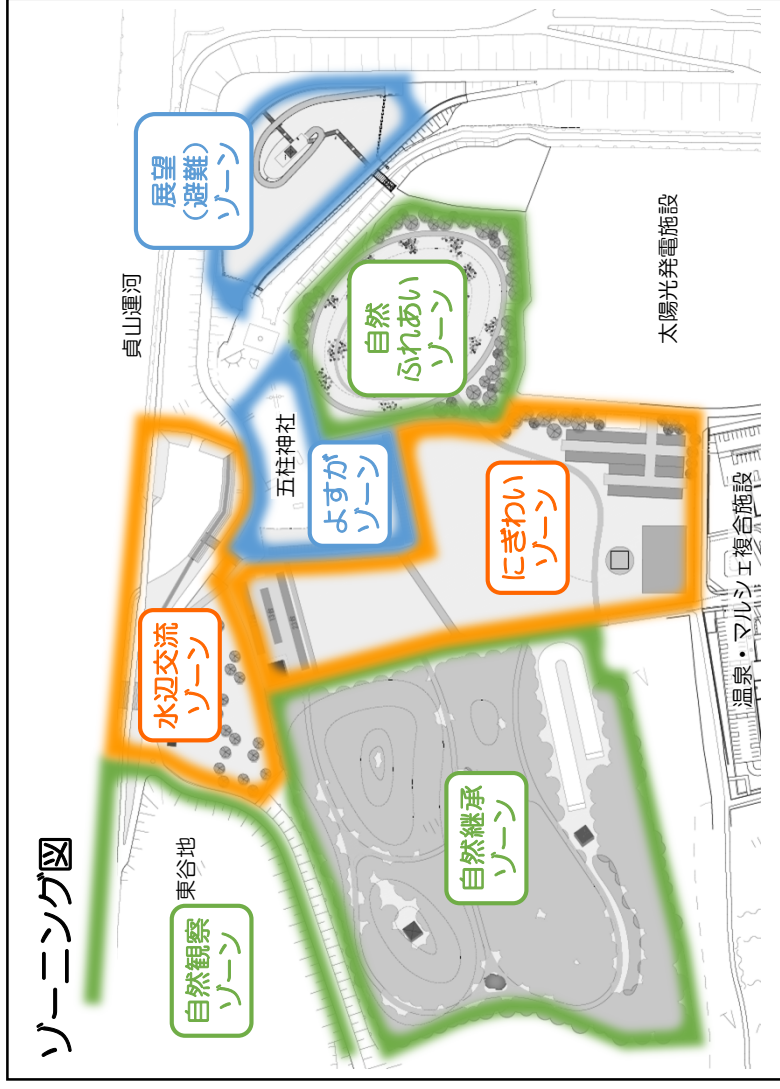
海岸公園（藤塚地区）基本計画

計画の位置づけ



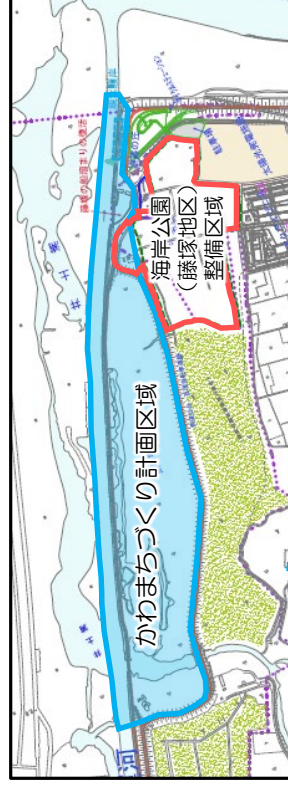
基本方針

自然と人との つながりの 再構築	<ul style="list-style-type: none"> 地域特有の自然環境・海浜景観の再生や資源の利活用 集いふれあえる自然環境・海浜景観の創出
震災記憶の 継承	<ul style="list-style-type: none"> 津波防災を啓発する海辺のモデルとなる公園づくり 地域の歴史や文化・震災の記憶と経験を発信・継承する仕掛けづくり
新たな賑わい ・交流の創出	<ul style="list-style-type: none"> 交流をつくる施設の整備と新たな機能の導入による賑わいづくり 周辺施設との連携や回遊性の向上

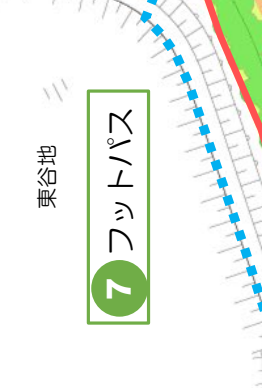
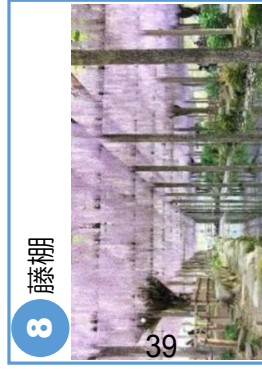


海岸公園（藤塚地区）基本計画

基本計画図



かわまちづくり支援制度適用



太陽

かわまちづくり支援制度の概要



河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す。(令和5年8月時点:264地区)

ソフト施策による支援

- ・都市・地域再生等利用区域の指定等による民間事業者等のオープンカフェ等への河川空間の多様な利活用の促進
- ・優良事例に関する情報提供や必要な調査等により、計画の実現を支援

都市・地域再生等利用区域の指定の適用事例



遊歩道の民間活用
(道頓堀川/大阪市)



オープンカフェの設置
(京橋川/広島市)

先進的な取組の情報提供



民間事業者の参加
(信濃川/新潟市)



賑わい拠点の整備
(木曾川/美濃加茂市)

ハード施策による支援

- ・治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理用通路や親水護岸等の施設整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。
(市町村、民間事業者が河川空間の利用施設を整備)



河川管理用通路の利用
(最上川/長井市)



親水護岸の利用
(新町川/徳島市)

名取川藤塚地区かわまちづくり計画

事業の概要

- 運河や湿地における自然体験や水面利用の拠点となる施設の整備を実施。
 - 運河を軸としたエリアの一体感の創出及び回遊性の向上を図る。
 - 令和5年8月10日、「かわまちづくり」支援制度への新規登録。
- ## 事業の効果
- ・ 名取川の空間利用の利便性が向上することにより自然体験、サイクリング、カヌー、SUP等のイベント利用が促進され、観光振興や地域活性化につながることが期待される。
 - ・ 対岸の名取市の関上地区かわまちづくりとの連携が期待される。

計画区域



41



かわまちづくり登録証伝達式



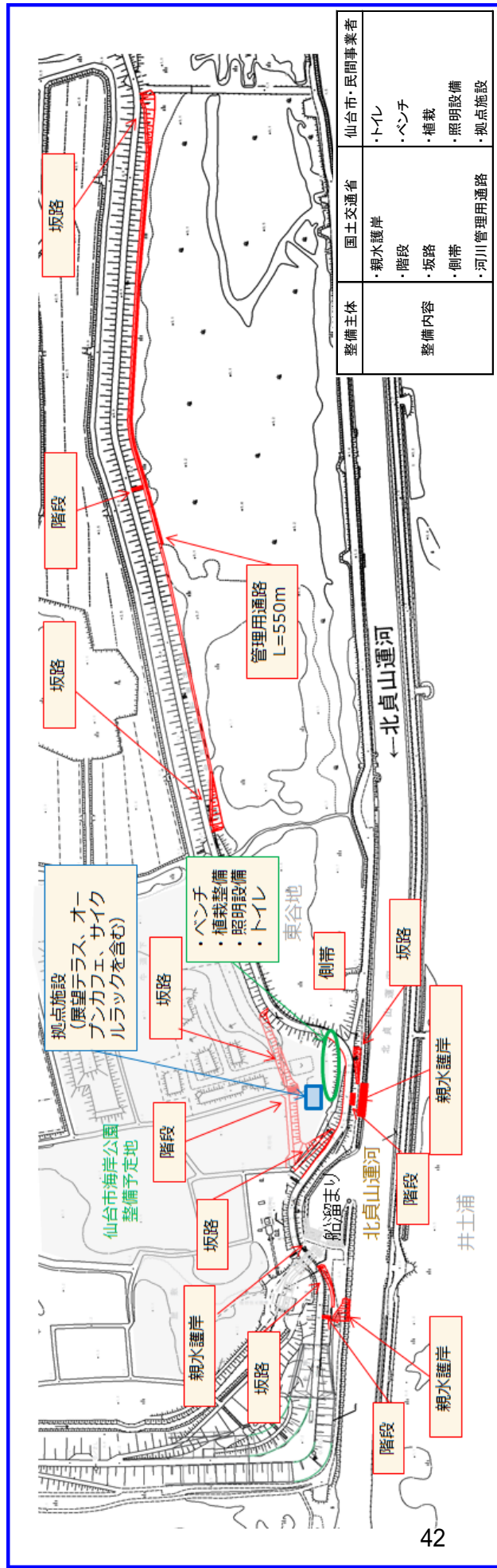
さくばの曳舟
貞山運河倶楽部
(貞山運河の水面利用)



荒浜の生き物ツアー
(公財) 仙台市公園緑地協会
(仙台市海岸公園の指定管理)

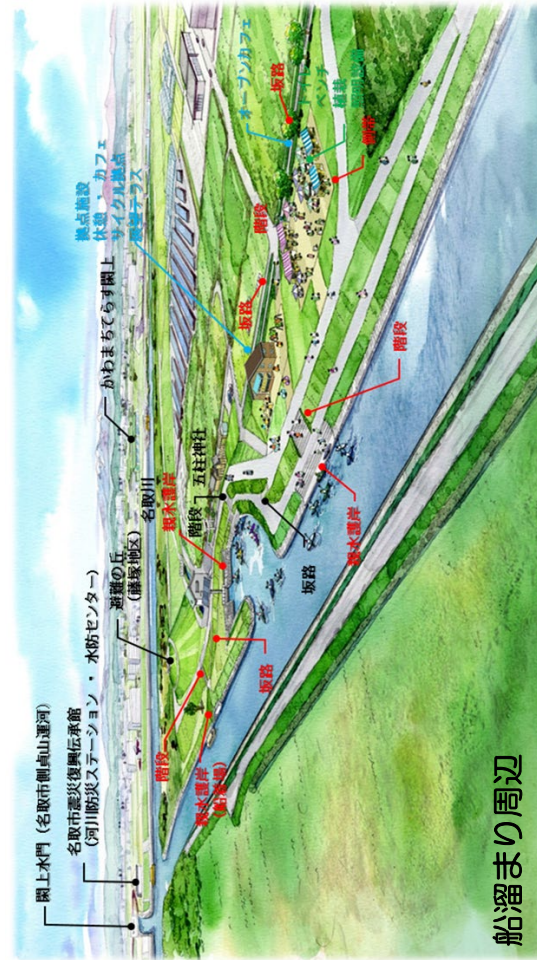
名取川藤塚地区かわまちづくり計画

平面図

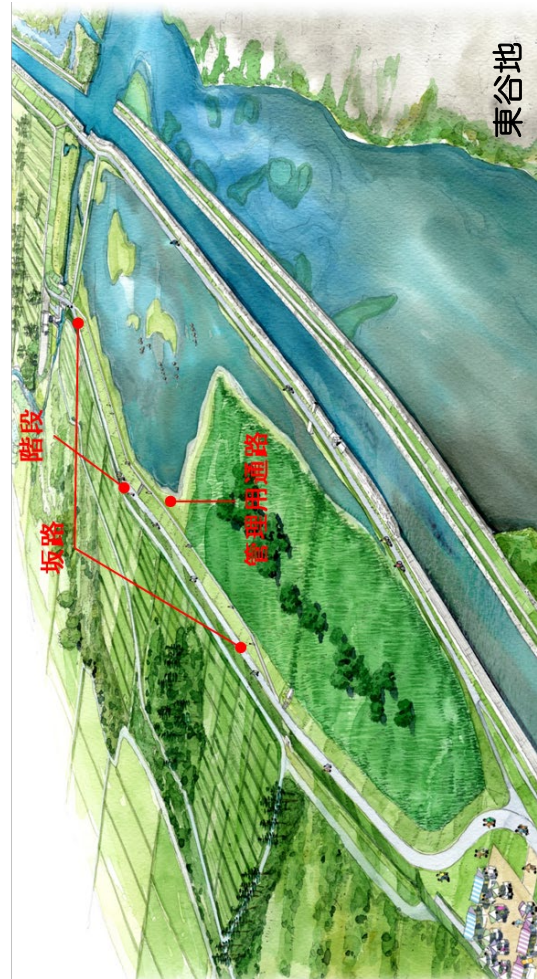


42

整備イメージ



船溜まり周辺



東谷地

1.事業概要

カヤック体験を通して貞山運河の自然を身近に感じ、新たな魅力を発見いただくことを目的として、体験イベントを開催した。

2.日程

令和7年6月7日(土) 午前の部:10時～11時半／午後の部:13時～14時半

3.場所

海岸公園センターハウス西側(仙台市若林区荒浜字北官林30)

4.参加者

小学生以上のペア18組36名(47組94名の応募から抽選)

5.参加者アンケート結果概要 (16組より回収)

- ・16組中15組(93.8%)が「大変満足」「満足」と回答
- ・貞山運河で今後参加してみたいイベント(複数回答可)としては、SUP(10)、Eボート(9)といった水辺のアクティビティのほか、釣り体験(10)への需要が高かった。
- ・当日のその他訪問先についてアンケートしたところ、イベントのみで帰る参加者が一定数(4組)いるものの、その他(12組)は、荒浜地区内に限らず仙台港周辺や、藤塚・閑上など幅広くエリアを周遊していることがわかった。



2. 貞山運河ボート乗船&自然観察会

仙台市若林区海浜エリア活性化企画室

1.事業概要

本業務は、貞山運河に棲む生き物観察の現地学習とボート体験といったアクティビティを組み合わせて、貞山運河の魅力を知っていただくことを目的として開催した。

2.日程

令和7年7月5日(土) 各90分程度、計4回

3.場所

若林区藤塚地区内貞山運河(新堀)及び名取川(右記図のとおり)

4.参加者

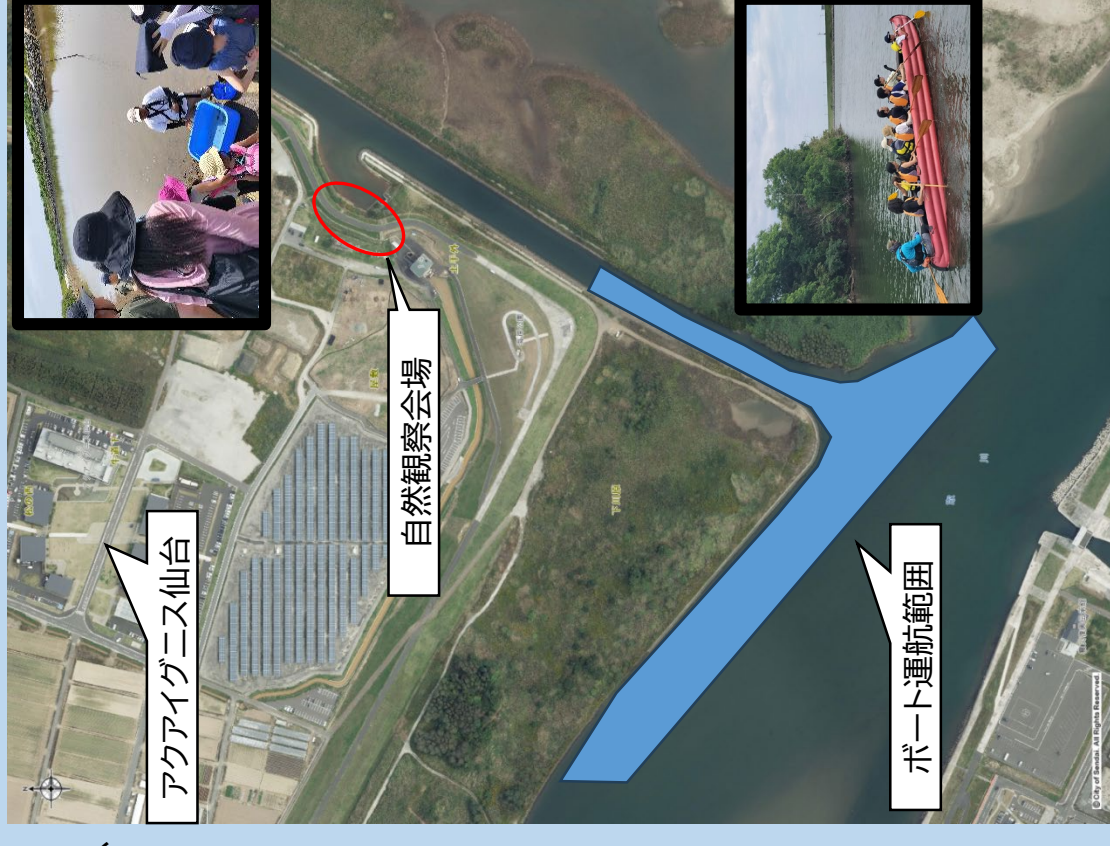
44 37名(66名の応募から抽選)

5.参加者アンケート結果概要(18組より回収)

- ・自然観察会、ボート乗船会ともにすべての参加者が「大変満足」「満足」と回答した。
- ・貞山運河で今後参加してみたいイベント(複数回答可)としては、カヌーやカヤック(14)、遊覧船(9)、SUP(8)といった水辺のアクティビティのほか、釣り体験(12)への需要も高かった。
- ・当日のその他訪問先(複数回答可)としては、隣接するアクアイグニス仙台(15)が最も多く、次いでかわまちてらす閑上(3)となっており、イベントにより近隣施設への回遊が一定生まれることは確認できた一方で、今後はイベントを起点として他地区への回遊を促すための仕組みを検討していきたい。

6.その他

10月13日にも海岸公園センターハウス西側にて、ボート体験会のみを実施する予定。



【実施場所】

1. 事業概要

昨年度に引き続き、小型船運航により貞山運河の魅力を知っていただくとともに、運航にあたってのニーズや課題を把握し、将来的な舟運等の利活用に向けた検討を進めることを目的として開催予定。

昨年度の参加者アンケートの結果において、「ガイドが同乗して歴史や自然について解説してほしい」との要望が一定数あったことから、今年度は、歴史や生き物ガイドが乗船の上、案内を行う。

2. 日程(予定)

令和7年10月2日(木)、10月15日(木)、10月29日(水)、10月30日(木) 計4日間

⁴⁵ (生き物ガイド乗船日:10月2日、30日、歴史ガイド乗船日:10月15日、29日)

1日あたり4回実施(各回65分程度)

3. 運航ルート

かわまちてらす閑上前棧橋から井土浦樋門又は貞山運河水門

4. 参加者(予定)

144名(329名の応募から抽選)



【令和6年度の様子】



【運航ルート】

貞山運河での取組について

【水質調査】

調査箇所	貞山運河（新堀）七北田川合流点～深沼橋
調査時期	令和6年8月、11月
調査地点	下図のとおり運河内7点＋七北田川1点
調査項目 調査結果	<p>①水質調査（2割水深、8割水深の2層） 水温、水深、電気伝導率、pH、濁度、BOD、DO →顕著な汚濁は確認されなかった（環境基準C類型を満足） （ただし No.1 地点で冬季 pH が高い値を示した）</p> <p>②底質調査 酸化還元電位、強熱減量、硫化物 →No.1 地点で硫化物が水産用水基準値を超える値を示した</p> <p>③底生動物調査 →北側ほど確認種数、個体数が減少する傾向であった</p> <p>④水門開扉効果検証（24 時間開扉） →24 時間開扉により七北田川の水が深沼橋まで流入していることを確認した</p>

※令和7年は水門開扉による改善効果の検証を実施予定

【実施工事】

- 工事① 南貞山運河護岸整備工事
施工延長 L=73.9m
工事期間 自：令和6年11月
至：令和7年9月（完成）



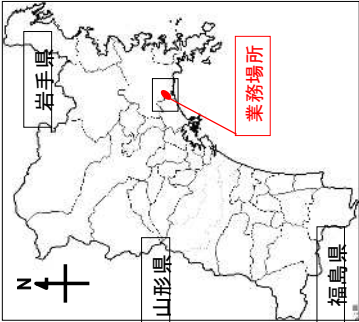
- 工事② 北貞山運河護岸修繕工事
施工延長 L=18m
工事期間 自：令和7年7月
至：令和7年12月（予定）



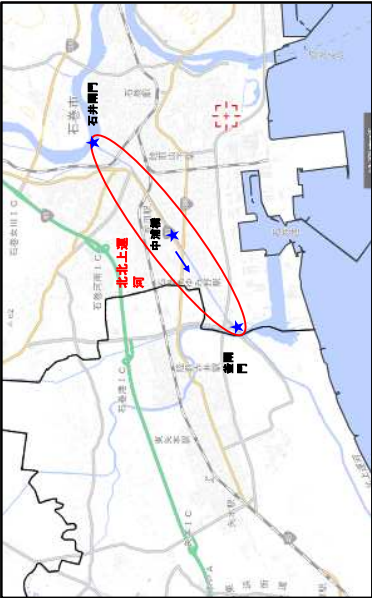
北北上運河水質調査検討業務委託 概要説明書

1	業務番号	令和6年度県河局06020-B01号		
2	業務名	北北上運河水質調査検討業務委託		
3	業務場所	二級河川定川水系北北上運河 石巻市宇深淵地内外		
4	履行期	令和7年8月8日	～	令和8年3月10日 まで
5	金額	請負額 17,220,500 円(税込み)		
6	業種部門	建設コンサルタント(建設環境、河川、砂防及び海岸・海洋)		
7	請負者	株式会社 建設技術研究所 東北支社		
8	業務概要	水質調査検討業務 水質調査(3地点) N= 7回 底質調査(3地点) N= 2回 水質改善対策効果の検証 一式 水質改善対策効果の立案 一式		
9	事務所名	東部土木事務所		

位置図



業務箇所図



<二級河川定川水系北北上運河>



